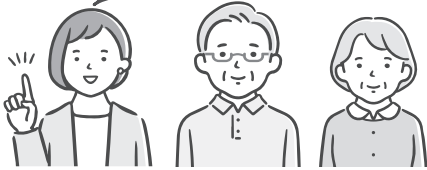


知っていますか



# あなたのまちの 民生委員・児童委員

▶問い合わせ 社会福祉グループ (☎<sup>05</sup>1911)

一番身近な相談相手

『民生委員・児童委員』は、厚生労働大臣から委嘱された地域で暮らしの方たちを支える一番身近な相談相手です。

誰もが安心して暮らせるよう、生活上の困りごとや心配ごとを抱える方の相談に応じ、必要な支援に繋がります。

相談内容により、市や社会福祉協議会のサービスを受けられるようにしたり、高齢者や障がいのある方の世帯の見守りや安否確認をしたりする地域には欠かせない存在です。

求められる担い手

市では現在、119人の『民生委員・児童委員』がそれぞれの担当地区で活動しています。※うち12人は主任児童委員。

しかし、登別市の『民生委員・児童委員』の定員は131人とされており、委員数が不足しているのが現状です。

少子高齢化など、社会状況の変化に伴い、相談内容も多様化している中、地域を支える担い手が求められています。

## ◎ 現役民生委員・児童委員の声 ◎



中央西地区民生委員  
児童委員協議会  
おた とおる  
太田 通さん  
(22年目)

私が民生委員になったのは定年退職を迎えた平成13年のことでした。当時の町内会長から「民生委員を引き受けてもらえないか」と熱心に頼まれ、福祉に関心があったことや、元来の世話好きな性格も背中を押し、引き受けることにしました。

日頃の活動内容は、主に住民の見守りや相談を受けることです。年々、社会環境が変様・多様化し、2025年に団塊の世代が75歳以上、約3割の人が要介護の対象となると言われている中で、介護保険サービス利用に関する相談や、ひとり暮らし高齢者宅を訪問し見守ることが増えています。

民生委員・児童委員は最も身近な相談相手であり、様々な相談を受け、寄り添いながら支え合う、地域福祉の担い手として大きな使命を感じております。



登別地区民生委員  
児童委員協議会  
はたけやま もとこ  
島山 基子さん  
(24年目)

私が福祉活動を始めたきっかけは、子どもが手を離れ何かボランティアをしたいと考えていた時、後任として民生委員になってほしいとお声掛けいただいたことでした。

初めのうちは、ひとり暮らし高齢者宅を訪問しても、「何しに来たの?」と警戒されドアを開けてもらえず、半年ほど辛い時期もありました。それでもめげずに足を運ぶうち、次第に「待ってたよ」とドアを開けて出迎えてもらえるようになり、その時は続けて良かったと嬉しくなりました。

お互いさまの心とありがたい言葉が原動力となって、今日まで続けられました。ぜひ若い世代にも、地域や福祉に関心を持っていただけたらと思います。

あなたの人生経験を  
生かして

## 民生委員・児童委員の活動をしませんか

次の地区では『民生委員・児童委員』が不足しています。  
子育てや仕事の経験を生かして活動してみませんか。

- 登別本町2丁目の一部
- 常盤町2丁目
- 常盤町5・6丁目
- 富士町1丁目、2丁目の一部
- 柏木町2・3・4丁目の一部
- 栄町1・2丁目の一部
- 鷺別町6丁目の一部
- 若草町1・2丁目の一部
- 美園町3丁目の一部
- 美園町3・5丁目の一部
- 桜木町4丁目の一部 (桜木団地)

Q 民生委員・児童委員の活動に関するよくある質問

どうしたらなれますか。なにか資格は必要ですか。

A 厚生労働大臣からの委嘱を受ける必要がありますが、特別な資格は必要ありません。活動への熱意がある方が求められています。

仕事と並行してできますか。

A 活動日数が定められているわけではないので、無理のない活動が可能です。実際に仕事をしながら活動している方もいます。

報酬はありますか。

A 給与や報酬などの支給はなく、ボランティアとして活動しています。ただし、活動に必要な交通費や電話料金などの一部が『活動費』として支給されます。